

# 食品と容器

FOOD & PACKAGING

1

Vol.64  
2023

## 新年のご挨拶

加藤寛之 2

## 第1特集 新春誌上座談会

- |                           |         |
|---------------------------|---------|
| 『グローバル時代における「食」を考える』      | 4       |
| 世界の食料需給状況、食品ロスの現状、今後の取り組み | 田中梨佳 6  |
| グローバル化の中での食品ロス対策          | 岸田 学 14 |
| 水産資源の現状と今後                | 田中栄次 22 |
| 昆虫食新時代 ～家畜化と害虫の資源化～       | 水野 壮 29 |
| グローバル時代における「新しい食」の誕生と今後   | 石川伸一 37 |

## 第2特集 海外事情

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| コメを中心とするラオスの食文化と農業 | 浅井英利 42         |
| インドの食文化            | アディティ・アロク・モア 47 |
| スイスの食事情            | 島崎祐希 52         |
| ブータンの食事情           | ミンゾー・ザム 59      |

## 最近の技術雑誌から

63

## 古今東西全部入り<sup>36</sup>

コーヒー豆（浅煎り） 67

記憶から映え、そして色の力

## 第1特集

### 新春誌上座談会

#### 『グローバル時代における「食」を考える』

- 世界の食料需給状況，食品ロスの現状，今後の取り組み  
.....田中梨佳
- グローバル化の中での食品ロス対策  
.....岸田学
- 水産資源の現状と今後  
.....田中栄次
- 昆虫食新時代 ～家畜化と害虫の資源化～  
.....水野壮
- グローバル時代における「新しい食」の誕生と今後  
.....石川伸一

## 第2特集

### ◆ 海 ◆ 外 ◆ 事 ◆ 情 ◆

- コメを中心とするラオスの食文化と農業.....浅井英利
- インドの食文化.....アディティ・アロク・モア
- スイスの食事情.....島崎祐希
- ブータンの食事情.....ミンツァー・ザム

### ■『グローバル時代における「食」を考える』■

食のグローバル化が進み、料理店のメニューや食卓には色々な食べ物が並び、食を愉しみ、心豊かな生活を求める時代となりました。

今年の新年号では、この食のグローバル時代におけるこの分野の専門家の方々に、最新情報やSDGsの取り組みなどを本誌紙面で解説をお願いしました。

最初に、特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド国内部門マネジャーの田中梨佳氏には『世界の食料需給状況、食品ロスの現状、今後の取り組み』と題して、世界の飢餓と私たちの生活との関係について理解を深め、どう行動すべきかについて解説いただきます。次に、農林水産省大臣官房新事業・食品産業部外食・食文化課食品ロス・リサイクル対策室課長補佐の岸田学氏には『グローバル化の中での食品ロス対策』と題して、食品ロスの現状と国内でのロス削減の取り組みについて解説いただきます。そして、東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授の田中栄次氏には『水産資源の現状と今後』と題して、水産資源の現状と今後、持続可能な資源への取り組みについて解説いただきます。更に、特定非営利活動法人食用昆虫科学研究会副理事長の水野壮氏には『昆虫食新時代～家畜化と害虫の資源化～』と題して、昆虫食を代替タンパク質の有効な資源として紹介し、国内外の取り組み状況について解説いただきます。最後に、宮城大学食産業学群教授の石川伸一氏には『グローバル時代における「新しい食」の誕生と今後』と題して、「新しい食」やフードテックなどを説明しながら新しい食品技術の紹介と今後の展望について解説いただきます。

### 世界の食料需給状況、食品ロスの現状、今後の取り組み



特定非営利活動法人(NPO法人)ハンガー・フリー・ワールド  
国内部門マネジャー  
田中 梨佳(たなか りか)

ハンガー・フリー・ワールド(HFW)の青少年組織ユース・エンディング・ハンガーの活動に参加し、ボランティアを開始。HFWで職員として国内活動を担当、その後鹿児島県で飲食業に従事。事務局次長としてHFWに復帰を経て、現職。

## グローバル化の中での食品ロス対策



農林水産省  
大臣官房新事業・食品産業部 外食・食文化課  
食品ロス・リサイクル対策室  
課長補佐（食品ロス削減・リサイクル班）  
岸田 学（きしだ まなぶ）

農林水産省入省後、現職。食品ロス削減，食品リサイクル，フードバンクを担当。

## 水産資源の現状と今後



東京海洋大学学術研究院  
海洋生物資源学部門 教授  
田中 栄次（たなか えいじ）

東京水産大学卒業，東京大学大学院博士課程修了（農学博士），東京水産大学助手，を経て，現職。国際捕鯨委員会科学小委員会委員，水産政策審議会会長，日本海・九州西広域漁業調整委員会会長など歴任。

## 昆虫食新時代 ～家畜化と害虫の資源化～



特定非営利活動法人（NPO 法人）食用昆虫科学研究会  
副理事長  
水野 壮（みずの ひろし）

筑波大学大学院博士課程修了（農学博士）。専門は応用昆虫学，食用昆虫学。独立行政法人科学技術振興機構日本科学未来館において，生命科学分野の展示企画などを担当。その後，食用昆虫科学研究会を立ち上げ，現職。麻布大学，フェリス女学院大学非常勤講師。主な著書として「昆虫食スタディーズーハエやゴキブリが世界を救う（化学同人）」がある。

## グローバル時代における「新しい食」の誕生と今後



宮城大学  
食産業学群 教授  
石川 伸一（いしかわ しんいち）

東北大学農学部卒業，東北大学大学院農学研究科博士課程前期修了。日本学術振興会特別研究員，北里大学助手・講師，カナダ・ゲルフ大学客員研究員（日本学術振興会海外特別研究員），宮城大学食産業学部准教授などを経て，現職。専門は分子調理学，関心は食の未来学。